



震災と市議会

市議会として各種の要請

3月定例会市議会の冒頭、震災犠牲者に黙とうが捧げられた(議会棟本会議場)

市議会では震災後、すみやかに代表者会等を招集し、各種の要望を取りまとめました。また、市民の要望に沿った早急な事業の実施に向けて、審議に取り組みました。

1月24日午後1時、「兵庫県南部地震による災害状況について」を案件として、代表者会を招集し、議会として意見を取りまとめ、緊急に対策が望まれる以下の7項目について要請することを決定し、市長に要望書を提出しました。

(要望事項)

1. テレビ等報道関係を通じた明石の情報提供、及び自治会等の協力による回覧の実施
2. 地震計の設置
3. 公共施設の開放の拡大
4. 仮設住宅の早期建設と民間企業等の社宅の活用
5. 生活資金の融資制度の早期確立
6. 水道・ガス及び交通機関の早期復旧
7. 集合住宅の危険度判定の実施

併せて、この要望事項を盛り込んだ「震災見舞い」を、市議会として市民宛に出すことを決定。1月27日付けの新聞折り込みで各戸配付しました。

1月30日午後1時に、再度「兵庫県南部地震災害状況」について代表者会を招集し、各議員の意見・要望については各会派ごとに取りまとめ、再

び当局に要請することを確認しました。

2月1日、さらに、次の10項目にわたる要望書を再度市長に提出しました。

2月6日午後1時、「兵庫県南部地震の災害状況」について、代表者会を招集し、災害状況について概略的な経過説明の後、1月24日の7項目の要望事項、2月1日の10項目の要望事項について、現状報告を受けました。

2月8日午前11時20分、震災対策に関する議員協議会のもち方について協議するため、議会運営委員会を招集し、2月11日午後1時から開催と決定しました。

2月11日午後1時、「兵庫県南部地震にかかる諸問題について」議員協議会を開催し、当局の震災に対する迅速な対応を求めました。

3月定例会市議会を前に

2月23日午前10時、同日、市長が3



(要望事項)

1. 被災者救済のための緊急対策・各種減免措置及び災害復旧に対する財源確保に努められたい。
2. 被害家屋の危険度判定については、市も窓口となって実施されたい。
3. 家屋等の除去と費用助成の方針を早期に確立されたい。
4. 災害実態に見合った戸数の仮設住宅を建設(併せて近隣の家屋等の情報提供)されたい。
5. 各種貸付金の枠を確保されたい。
6. 災害対策に関してのリアルタイムな情報が得られるためのネットワークを確立されたい。
7. 災害にかかる法律相談を特別に設けられたい。
8. 災害を受けた施設の早期復旧に向け最大の努力をされたい。
9. 今後の対応に生かせるような避難者の実態調査を実施されたい。
10. 今回の災害を教訓に防災計画の見直しをされたい(職員の士気高揚を誘発するように)



2月11日議員協議会を開催し、
市当局に迅速な対応を求めた(議会棟大会議室)

月2日を初日とする3月定例会市議会の招集を告示、代表者会を招集しました。

2月23日午前11時、3月定例会市議会の運営についてを主要な案件とする議会運営委員会を招集しました。

3月定例会市議会で

震災後の復旧・復興に要する新年度予算案や、専決処分された補正予

算、条例審査が行なわれ、復旧・復興に対する積極的な取り組みと速やかな対応を期待して、全議案を可決しました。

5月臨時市議会で

新たに組織された議会の初仕事として、早速に震災復旧・復興に要した条例、補正予算の専決処分の議案が提案され、これを承認しました。

6月定例会市議会で

3月定例会、5月臨時会と同じく、応急的に措置された内容について審査。今後、市当局とも十分に協議し、市民の要望に沿った「災害に強いまちづくり」という視点に立って、より一層適切で慎重な審議を行いました。